平成19年度 商工会の行う特別事業

（国・県等の補助事業）その1

『全国展開支援事業』採択商工会が2倍「8件」に！

平成18年度からスタートした「小規模事業者新事業全国展開支援事業」全国展開プロジェクトが本年度は8件採択された。この事業は公募制で地域興しの斬新なアイディアと企画を競う事業。事業メニューには、畜産物から紅芋、観光資源開発、IT館の活用など、多様な地域の資源活用が盛り込まれている。

小規模事業者全国展開支援事業 ……全国連受託事業

1 石垣市

観光開発事業　8、000千円
いしがきブランディングプロジェクト

本市第3次総合計画との整合性もはかり、本事業の目的を達成するために「統一ブランド戦略」「観光ブランド戦略」「観光情報戦略」の各戦略を、地域資源・人材等活用して実施。

また、これまでの取り組みの成果である「特産品ブランド」をミックスした「いしがきブランド」の確立が最重要事項となる。

本事業の目的として、①統一ブランド調査、②観光メニュー開発とブランド化並びに受入基盤整備、③観光情報プラットフォームの構築。

2 名護市

特産品開発事業　8、000千円
産学連携新ブランド豚「チャーグー」の全国展開事業

地域高校生が開発した「チャーグー」を全面にPRし「安心・安全」を第一にブランドイメージを確立し、県内はもちろん県外へも販路拡大を図り一産業としての発展を目指す。

3 糸満市

特産品開発事業　8、000千円
糸満海人かまぼこブランド事業

「名特産品」として、糸満かまぼこブランドの確立。

素通り観光から脱却するために観光客の集客を強化しながら、お土産品としてのかまぼこの消費拡大に努める。

付加価値の高い商品開発、新しい販路開発方法と販売方法を指導するための実績を作り、地域事業者への商業活動意欲を高める。

4 東村

観光開発事業と特産品開発事業の両方　8、000千円
自然を守り・自然を活かす『ひがしブランド』プロジェクト

体験学習のブランドとして定着している東村エコツーリズム等の観光事業を牽引力とし、農業・漁業・商工業と自然をより一体化した産業振興を図る。

新たな体験メニューの開発と体験する場所を確保し、5年後に観光入域客を350,000人に設定し、類似商品と明らかに異なる優位性や他の地域ではできないサービスの根拠を明確にし、その根拠を大事に育てていく。

5 今帰仁村

特産品開発事業　8、000千円
琉球在来豚今帰仁アグーを中心とする地域資源開発・販路開拓『今帰仁ブランドプロジェクト』

地域特産品と観光資源の活用により合併に頼らない地域再生を模索している。地域資源（今帰仁アグー、ハイビスカス、黒糖、牛乳、マンゴー、クワンソー）を1次産品から2次産品へ加工することにより、付加価値の高い商品を生産し地域経済の発展を図り、1次産業、2次産業双方の振興を図る。また、関連企業を組織化し今帰仁ブランド協同組合とすることで、企業間の連携により今帰仁ブランドを構築する。ブランド機能を活用した地域情報の発信、知名度アップによる地域団体商標の登録と、消費者への安全・安心・信用の

県連臨時総会平成19年度事業計画・予算を決定

～小規模企業支援機関としての機能を強化しよう～

平成18年度県連臨時総会が去った3月28日に沖縄産業支援センターにおいて開催された。

平成19年度重点事業は次のとおり。

Ⅰ. 小規模企業支援体制の再構築
1. 商工会組織の強化
2. 情報化対策の推進及び支援
3. 会員サービスと財政基盤強化

Ⅱ. 小規模企業支援事業の強化
1. 創業・経営革新支援対策等の推進
2. 広域振興等地域活性化事業の推進及び支援
3. 小規模事業者新事業全国展開支援事業等の支援

Ⅲ. 人的資源強化対策事業の推進
1. 商工会等役職員研修会の開催
2. 商工会職員資質向上・資格取得の奨励
3. 人事評価制度の定着及び処遇への反映のための調査研究
4. 人事異動の円滑化のための調査研究